

中国株ウィークリーレポート

2019/3/25

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	25,502.32	-460.19	-1.77	-1.34	9.32	23,327.46
NASDAQ	7,642.67	-196.29	-2.50	-0.60	15.18	6,635.28
日経225	21,627.34	18.42	0.09	0.82	8.06	20,014.77
上海総合	3,104.15	2.69	0.09	2.73	24.47	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,833.80	-3.09	-0.08	2.37	27.34	3,010.65
ハンセン	29,113.36	41.80	0.14	0.35	12.64	25,845.70
中国企業	11,517.48	-26.61	-0.23	0.08	13.76	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.3%高と小幅ながら続伸、上海総合指数は2.7%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.3%高と小幅ながら続伸した。米中通商問題を巡る先行き不透明感の高まりが相場の重しとなったが、本土株の上昇を追い風におおむね29000ポイント台での値動きが続いた。FOMCでは年内の利上げ停止や資産縮小停止の見通しが示されたが、週後半はテンセントなどの主力株の決算発表に相場が左右された。本土市場では上海総合指数が週間で2.7%高と続伸。節目の3100ポイント付近で堅調な値動きが続いたが、節目を上回る水準では上値の重さも目立った。

今週の展望:香港市場は軟調な展開か、世界的な景気減速懸念強まる

香港市場は軟調な展開が見込まれる。欧州では英国のEU離脱を巡る混乱や弱い経済指標の発表、米国では景気後退の予兆とされる長短金利の逆転現象が発生するなど世界的な景気減速懸念が強まっており、香港市場でもリスク回避姿勢が強まる公算が大きい。一方で28-29日には米中閣僚級通商協議が予定されており、交渉の進展期待が高まれば相場の下支えになることも予想される。本土市場も軟調な展開か。米中通商協議の進展期待や金融緩和期待は根強いものの、相場の過熱感から利益確定売りが強まりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	石薬集団 (01093)	15.04	11.74
2	吉利汽車 (00175)	15.24	10.27
3	万洲国際 (00288)	8.47	8.59
4	碧桂园 (02007)	12.20	7.96
5	中国蒙牛乳業 (02319)	26.65	7.03
6	中国生物製薬 (01177)	7.30	6.26
7	恒基兆業地産 (00012)	47.65	6.12
8	恒安国際集団 (01044)	68.10	5.50
9	太古A (00019)	99.70	4.73
10	中国旺旺 (00151)	6.48	4.18

▼騰落率下位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	チャイナモバイル (00941)	81.90	-4.71
2	新世界発展 (00017)	12.28	-3.61
3	舜宇光学科技 (02382)	92.70	-3.59
4	長江インフラ (01038)	63.50	-2.98
5	シパック (00386)	6.51	-2.54
6	交通銀行 (03328)	6.55	-2.24
7	電能実業 (00006)	53.90	-2.18
8	AIAグループ (01299)	77.10	-1.78
9	中国建設銀行 (00939)	6.94	-0.86
10	香港証券取引所 (00388)	272.80	-0.73

▼今週の主なイベント

- 3月27日(水)
 - 【中国】工業企業利益(1-2月)
- 3月28日(木)
 - 【中国】米中閣僚級通商協議(～29日)
 - 【米国】GDP確定値(10-12月期)

▼今週の期待材料

- ◆米FRBが利上げに慎重なハト派姿勢を鮮明に、年内利上げ回数を見通しをゼロに下方修正
- ◆A株企業の18年本決算が堅調、25日にまでに発表した505社の純利益は合計で22%増加
- ◆28-29日に北京で米中閣僚級通商協議を開催、貿易摩擦を巡る最終合意に期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆米国で景気後退の予兆とされる長短金利の逆転現象が発生、景気の先行きに対して警戒感が強まる公算
- ◆27日に1-2月の中国の工業企業利益が発表に、旧正月の連休や米中貿易摩擦の影響で悪化の見通し
- ◆上海総合指数の年初からの上昇率が24.5%に、本土市場で短期的な相場の過熱感強まる

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 18年12月本決算は10%増益、証券各社が目標株価引き上げ
- ☆ 中国建設銀行 (00939) : 27日に18年12月本決算を発表、市場予想は4%増益
- ☆ 中国工商銀行 (01398) : 28日に18年12月本決算を発表、市場予想は5%増益
- ☆ 中国太平洋保険 (02601) : 18年12月本決算は23%増益、市場予想上回る
- ☆ 招商銀行 (03968) : 18年12月本決算は15%増益、市場予想上回る
- ☆ 洛陽モリブデン (03993) : 蘭バースメタル企業の買収計画、米独禁法審査を通過
- ◇ 恒基兆業地産 (00012) : 李兆基会長が5月の株主総会で退任の意向
- ★ 中国神華能源 (01088) : 18年12月本決算は8%減益、市場予想下回る
- ★ 中国人民財産保険 (02328) : 18年12月本決算は22%減益、市場予想下回る
- ★ 中国人寿保険 (02628) : 27日に18年12月本決算を発表、市場予想は51%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。